

めざせ世界遺産登録

あなたも参加団体で
活動しませんか？

推進協議会の中心で活動

鎌倉市商店街連合会

鎌倉市商店街連合会は昭和25年に、鎌倉市内の商店街の近代化並びに経営の合理化の推進、市内の商業の振興と市民の消費向上に寄与する事を目的に設立されました。現在は30の商店街及び8店の大型店で構成されています。

主な活動としては、商店街の催事事業や街路灯電気料の補助金の申請、著名な講師を招いての講演会、ラッピングやPOP文字等の技術講習会の開催、先進的な取り組みを行っている商店街等の視察、市内で開催される催事に対して共催・後援・協賛事業等を行っています。

昨年発生した東日本大震災に対しては、各々の商店街が様々な形で支援活動を行い、鎌倉市商店街連合会としても加盟商店街に義援金を募り、被災地のいわき商工会議所に101万円の義援金の寄付を行いました。

世界遺産登録に関しては、連合会長が登録推進事業部会長として、前連合会長が推進協議会の理事として、また商店会長及び商店主の方々が立場を替えながら様々な形で、登録推進に協力をしています。



新春の挨拶をする奴田連合会長

地域の伝統文化を守る

深沢地区連合町内会

昭和31年に設立され、現在31の自治町内会で構成されています。地域の自治町内会の連絡協調を図り、地域社会の福祉増進事業や地域社会の発展に必要な事業を行っています。

31回におよぶ伝統ある文化祭「芸能のつどい」は全町内会が参加して芸能を披露し、皆様に親しまれています。また深沢地区の象徴のような地域祭「ふかさわ夏まつり」と「ふかさわ冬まつり」にも協力しています。さらに、深沢地区社会福祉協議会が11月に開催する福祉バザーにも全面的に協力しています。

昨年行われた『世界遺産登録推進のための深沢地区との意見交換会』には岩壁宗孝前連合町内会長等が出席し、世界遺産登録の重要な支えとなる地域の伝統文化・文化遺産の保護や住民の行事への取り組みを話されました。深沢地区には世界遺産の重要な構成資産である北条氏常盤亭跡(唯一の武家館)、大仏坂、仮粧坂周辺があります。周辺の環境とともに後世に守り伝えるため「常盤道普請の会」がつくられ、常盤亭周辺の清掃活動をしています。梅澤稔連合町内会長は、「伝統文化を守る活動をもっと推進していきたい」と話していました。



北条氏常盤亭跡付近の清掃活動

古都鎌倉の世界遺産登録って

なに？

第22回 若宮大路はどんな道？

治承四年(一一八〇)に鎌倉に入った源頼朝は、それまで海寄り(現在の材木座)にあった鶴岡若宮を現在地に移し、これを中心としたまちづくりを進めました。この鶴岡八幡宮への参詣路として造られたのが若宮大路です。鎌倉時代に書かれた『吾妻鏡』には、妻の北条政子の安産祈願も兼ねて頼朝が自ら陣頭指揮をとって、若宮大路を造った様子が記されています。

若宮大路の中央には、二の鳥居から北側に「段葛」と呼ばれる一段高い参道が築かれており、現在は、左右が石積みされています。両側の車道と歩道とともに世界遺産の候補資産範囲に入っています。

鎌倉幕府や武士たちから篤く崇敬された鶴岡八幡宮ですが、幕府の公式行事が執り行われるなど、政治・儀礼の舞台としても重要な場所でした。このため、若宮大路も神社の参道という役割に加え、都市・鎌倉のメインストリートという性格も併せ持っていました。

若宮大路と交差する道や、平行に走る道が多いことから、若宮大路を中心として都市・鎌倉が形づくられていることが分かります。

このように鎌倉の成立・発展において、若宮大路は重要な役割を果たしていたのです。